

(一社)日本写真学会

第5回表現と技術研究会

表現と技術研究会では、『プリントの魅力とプリントを作成する楽しさを伝えること』を目的に、従来のアナログシステムで作成される最高レベルのプリントに、デジタル技術で迫ることを目指すプロジェクトを進めます。

今回はプロジェクトの具体的作業についての検討をオープン研究会として行い、参加頂いた皆様のご意見を頂きながら、プロジェクトを進めています。

写真家の茂手木秀行氏がフィルムカメラとデジタルカメラで撮影した写真のプリントが完成し、前回、研究会にご参加いただいたみなさまにもご協力いただき、評価実験をおこないました。

今回は、この結果についてまとめたものを報告させていただきます。

先回の比較評価に参加頂いた方、ご都合がつかなかった方も、本プロジェクトに興味をお持ちの多くの方のご参加をお待ちしています。

なお、研究会は写真学会会員限定で、定員20名としましたので、参加希望の方はお早めにお申し込み下さい。また、これを機会に、新規入会される方も歓迎します。

【開催日時】 2019年3月26日(火) 18:00~20:00 (17:30 受付開始)

【開催会場】 日本大学江古田校舎 東棟2階 写真講義室

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

写真学科事務室電話: 03-5995-8210

【交通】

■電車: 西武池袋線各駅停車にて江古田駅下車 北口より徒歩 1分

■アクセス・地図: http://www.nihon-u.ac.jp/access_map/

【今回の研究会テーマ】

『デジタルプリントと銀塩プリントの比較プロジェクトの進捗報告』

現在、進めている上記プロジェクトでは、前回、研究会にご参加いただいたみなさまにもご協力いただき、評価実験をおこないました。

この結果についてまとめたものを報告させていただきます。

【参加資格と参加費】 写真学会個人会員に限らせていただきます……参加費は無料です。

■参加資格: 個人会員(一般、学生)に限る。開催当日までに入会手続きを前提とした参加申込も可能です。詳しくは、学会 Web サイトにて。

⇒入会案内: <http://spstj.org/member/annai.html>

【定員】 20名限定 (参加される方は必ず事前に申込をお願いします。)

※定員になり次第締め切りますのでお早めにお申込下さい。

【参加申込】 参加申込は、写真学会ホームページから行って下さい。

http://www.spstj.org/event/nissya_e_syosai_203.html

【申込締切】 2019年3月20日(水)

【主催】 一般社団法人 日本写真学会 表現と技術研究会:

主査: 原直久(日本大学)

委員: 小林裕幸(日本写真学会会長/千葉大学)、豊田堅二(日本大学)、甲田謙一(日本大学)

茂手木秀行(カメラマン)、西澤敦(セイコーエプソン)、松下艶子(ニコン)、久保元幸(ザ プリンツ)

蒔田剛(キヤノン)、内山高天(富士フィルム)、水口 淳(元ソニー)

事務局: 山岸治(日本写真学会)